

教育の まちづくり

玉名市教育振興基本計画
(ともに伸びる玉名の教育プラン)
の推進で

近年、社会経済情勢は急激に変化し教育を取り巻く環境も大きく変わりました。そのような中、国においては、教育基本法を平成18年に60年ぶりに改正し、平成20年7月には、教育振興基本計画が策定されました。

玉名市は、古い歴史を持ち、教育においては、開明的な進取の気風が漂い、先達のエネルギーに満ちた教育が展開され、近年も中・高等教育機関である九州看護福祉大学や公私立の5つの高校を有する文教の地です。

このような中、本市にあっては未来を切り拓く教育を推進するため、ともに伸びる玉名の教育プラン「玉名市教育振興基本計画」を策定しました。



「ともに伸びる玉名の教育プラン」とは

教育基本法第17条第2項の規定に基づいて、玉名市の教育振興に関する方策を総合的に取りまとめた計画です。計画期間は、平成22年度から26年度までの5カ年間です。

この計画は、「玉名市総合計画」や分野計画との整合性を図るとともに、国や県の「教育振興基本計画」をもとに、本市の教育に関する基本的な目標及び施策を体系的に示すものです。

また、この計画の方向性や施策について、市及び市民が一体となって取り組むことを求めるものです。

策定までの経緯

平成20年度、教育委員会に策定体制を設け策定を進め、21年8月に保護者や関係者への計画策定に関するアンケート調査、11月には、市内各中学校区で教育懇談会を実施し、それらの意見を踏まえた原案を策定、今年2月には、パブリックコメント、識者の指導を経て、3月に策定しました。

プランの趣旨

教育の目的は、「人づくり」です。国は、教育基本法で国家・社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を目標としています。玉名の教育プランでは、基本理念に「未来を拓き、地域と国際社会に貢献する人づくり」を掲げ、知、徳、体のバランスがとれ地域と国際社会に貢献できる人づくりを目指します。

基本理念

未来を拓き ^{ひら} 地域と国際社会に貢献する人づくり (発展・成長するイメージ 人と社会が結びつくイメージ)

基本目標および具体的施策

【1】子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育の充実を図る

☆一人一人の個性・能力に応じた学校教育を推進し、確かな学力と豊かな心をはぐくむ教育、体力づくりを推進し、信頼される学校、社会の変化に対応した教育を推進します。

具体例 「認め、ほめ、励まし、伸ばす」ことを教育行動指標として、子どもたちが、自ら考え、問題解決に主体的に取り組む教育の推進、ノーテレビ・ノーゲームデーの実践、早寝・早起き・朝ごはん等の基本的生活習慣の定着等

【2】家庭、学校、地域が連携を深め協働することで、地域社会全体の教育力を高める

☆家庭・学校・地域社会の連携と家庭の教育力の向上を図ります。

具体例 「玉名市家庭教育憲章」の周知理解と浸透、読書活動、こどもの地域活動の推進等

【3】伝統、文化を尊重し郷土を愛する教育環境を整える

☆文化財の保護と利活用の推進、市民が気軽に文化活動に参加できる機会を提供するとともに協働への連携に努める。

具体例 市民一人一人が郷土の歴史や文化を知り愛着や誇りを持ち、古くから受け継がれている伝統文化を次世代に引き継いでいく取り組みを支援します。

【4】生涯を通して、学ぶ楽しさを感じられる教育のまちづくりを行う

☆地域の特性を生かした新しい生涯学習社会の構築と地域に根ざした生涯スポーツの推進を図ります。

具体例 「地域の子どもは地域で育てる」という考え方を基底に置き、多様な体験活動がができる体制づくり等を学校教育と連携して取り組みます。



学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、その役割を果たすとともに、互いに連携を図り市民ぐるみで取り組む事が重要です。皆様方のご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

平成22年度（第52回）熊本県教育研究所連絡協議会研究発表会 玉名市大会が九州看護福祉大学で開催

各学校では、「生きる力」を育成することを基本的なねらいとして「豊かな心の育成」および「確かな学力の育成」等、新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育実践がなされています。熊本県教育研究所連絡協議会は、熊本県及び熊本市、玉名市、八代市、人吉市、山鹿市の教育機関が連携し、これからの教育の在り方等について研修を重ねております。

今年は、8月11日に玉名市で開催され、全体会に引き続き、テーマ毎の3分科会に分かれた研究発表に対し、約200人の参加者が活発な意見交換を行いました。

玉名市教育研究センターからは、「豊かに生きるための基礎を築く生徒指導～基本的な生活習慣の育成をめざして～」、「地域のよさを学び、地域に誇りと愛情をもつことができる児童・生徒の育成～地域素材を活かした教材開発と指導方法の工夫を通して～」についての2テーマの研究報告が行われ、これからの教育のあり方についての方向が示されました。

